

「あまみエフエム ディ！ウェイヴ」^{ほうそうげんこう} 放送原稿（12月28日（金）放送分）

テーマ 新着図書紹介

あまみエフエム ディ！ウェイヴをお聞きの皆様，おはようございます。^{かごしまけんりつあまみ}鹿児島県立奄美^{みとしよかん}図書館です。

今朝は，^{あまみとしよかん}奄美図書館の新着図書をご案内します。

まずは，一般書の紹介です。

^{さわだひでお}澤田秀雄さんは，18年もの間，赤字が続いていた長崎県のハウステンボスを，たった一年で黒字に^{てんかん}転換したという^{けいえいしゆわん}経営手腕の持ち主です。本物のビジネスリーダーがいないと言われる今日，^{こんいち}澤田さんは，数少ない^{しん}真のリーダーのひとりであるといわれています。そんな澤田さんが書いた『運をつかむ技術』が出版されました。「ダメだと思った瞬間からダメになる」「事業も人生をかけた冒険。チャレンジしなければ意味がない」など，豊かな^{こな}経験をもとに，これからの日本を担うすべての人に贈るメッセージの数々です。挑戦する勇気がわいてくる一冊です。

^{しげまつきよし}重松清さんの『空より高く』も，チャレンジすることのすばらしさを教えてくれる小説です。^{はいこう}廃校が決まった^{ひがしたまがわこうこう}東玉川高校の最後の生徒として入学したネタロー君。ごく普通の高校生として，それなりに楽しく過ごしていました。そんなネタロー君は，3年の夏休みになっても志望大学すら決められないでいます。。ところが，2学期に^{ふにん}赴任してきた熱血中年非常勤講師のジン先生の影響で，ネタロー君の心で何か動き始めます。作中で，ジン先生が繰り返す「レッツ，ビギン」は，読者の心にも響いてきます。多くの方に読んでいただきたい青春小説です。

次は，新着の児童書の紹介です。

^{おとたけひろただ}乙武洋匡さんは自伝『^{ごたいふまんぞく}五体不満足』の中に，「障害は不便です。しかし，不幸ではありません」と書いています。常に挑戦し続ける乙武さんは，大学卒業後，再び学び，教員免許を取得し，東京都杉並区の小学校で3年間，教師として働きました。その時のことを物語にした『だいじょうぶ3組』は，大きな反響を呼びました。その続編として出版されたのが『ありがとう3組』です。手足のない先生と，6年生になった28人の子どもたちが繰り広げる感動のエピソードの数々です。実際に教壇に立ち，子どもたちと真正面から向き合った乙武さんだからこそ，子どもたちの^{えが}純粋な心を描けたのかもしれませんが。前作『だいじょうぶ3組』と同様に，心が温かくなる物語です。

最後に郷土に関する本を紹介しましょう。

南九州民俗学研究会の第一人者・^{しものとしみ}下野敏見さんは、昭和30年から50年代にかけて、実際に県内各地を歩き、それぞれの土地のお年寄りから昔話の聞き取りをしました。その昔話をまとめた『鹿児島ふるさとの昔話2』が出版されました。北薩から奄美諸島までの168の話を、その土地の方言を使い紹介したものです。奄美諸島では、大和村の名音、宇検村の^{あむろ}阿室、^{やどん}屋鈍、瀬戸内町^{しば}芝などの昔話や伝説が、土地の言葉で紹介されています。昔話には、それぞれの地域に残る「教え」や「知恵」がたくさん詰まっています。気軽に読める民俗学として、ご家族でお楽しみください。

今年も残りわずかとなりました。奄美図書館は年末年始の臨時開館として、12月29日・30日、明けて1月3日を開館いたします。開館時間は午前9時から午後5時までです。調査相談や貸出予約などのサービス提供はできませんが、本の貸出や返却、閲覧室や学習室の利用はできます。多くの方の御来館をお待ちいたしております。

来年も多くの方に奄美図書館をご利用いただければと思います。来年も良い年でありますように！

^{かごしまけんりつあまみとしよかん}
鹿児島県立奄美図書館でした。